

# とりだい夏プログラム 2025

「救急医療現場の  
緊迫感を  
肌で感じながら  
ドクターヘリ要請から  
検査、診断、治療まで  
の一連の流れを体験  
できた。」

「大都市圏にも  
引けを取らない  
高度な救急医療を  
体験して  
都会と同じ水準の医療を  
提供することも  
地域医療の大きな柱  
なのだと感じた。」

## 救急・災害医療コースで学ぶ

- ・ドクターカーへの同乗、ドクターヘリの見学
- ・多発外傷や熱傷を含む三次救急  
(患者不在時は、HoloLensやVRによる診療体験が可能)
- ・EMARGOトレーニングシステムによる  
災害医療シミュレーション



上田 敬博  
高度救命救急センター教授

## 感染症コースで学ぶ

- ・微生物検査実習、抗菌薬の適正使用
- ・感染予防、職業感染対策、感染症サーベイランス  
国際感染症対策、感染対策における地域連携
- ・VRによる感染症医療現場体験



北浦 剛

臨床感染症学講座准教授

「感染症の患者さんに対する  
医療面接、身体診察  
カルテ記載等を  
体験する中で  
全身の各臓器に対して  
系統的に  
病態を解明していく  
システムレビューの手法を  
実践的に学べた。」

「ベテランの先生だけでなく  
若手の感染症内科医の先生と  
話せたのは大変貴重な機会  
で  
感染症内科での働き方  
考え方を  
間近で見て  
感染症への興味が深まった。」

対象：全国の医学部医学科1～6年次学生

内容：学年に応じたプログラムで対応します

場所：鳥取大学医学部附属病院および関連施設

期間：2025年8月4日(月)～8月22日(金)

上記のうち、希望に合わせて最短1日から実習可

問合せ：[chiiki-suishin@ml.med.tottori-u.ac.jp](mailto:chiiki-suishin@ml.med.tottori-u.ac.jp)

鳥取大学医学部地域医療共育推進室

申込みはこちらから！

7/29(火)締め切り



<https://x.gd/IRck5>



【文部科学省ポストコロナ時代の医療人材養成拠点形成事業】  
山里海医学共育プロジェクト